



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.1
令和3年4月14日
文責：校長 福島

潤いの雨と虹に迎えられ

本年度もこうして「えんじゅ」を書けることに心から感謝しています。

昨日第120回入学式を行いました。112名のピカピカの1年生が入学しました。

入学式の前日から雨が降りました。その雨が当日朝には上がり、空には虹が架かりました。最高の舞台を用意してくれました。

というのは、本年度の重点目標を「潤いのある学校・家庭・地域づくり」としているからです。

コロナ禍という社会状況とかすがっ子に必要な力から設定した重点目標です。

乾いた大地には植物は育ちにくいものです。大地を潤すと、植物は自らの力で根を張り、幹を太らせ、枝葉を茂らせます。子供も「自分で伸びる力」をもっています。潤いのある環境をつくることで、子供自ら伸びる力を引き出していきたいという願いを込めています。これからの時代をたくましく生き抜くためには、自分で考え、行動していく力がとても大切です。

「潤いがある」というのは、「笑顔がある・安心がある・対話がある」ととらえます。どうぞご家庭も「笑顔がある家庭・安心がある家庭・対話がある家庭」となるようお願いします。学校も「笑顔がある教室・安心がある教室・対話がある教室」となるよう努力していきます。

みんなの力を合わせて653人のかすがっ子を育てていきましょう。



「えんじゅ」3年目 よろしくおねがいします

「えんじゅ」というのは、運動場の東側にある木です。樹齢100年を超えるものと思われ、市の指定天然記念物です。漢字で「槐」と書き、魔除けや幸せを呼ぶという意味もあるそうです。「延寿」「縁授」と書くこともあり、いずれにしてもいい意味をもった木です。昨年度末に樹木医による治療を受けましたが、たくましく枝葉を茂らせています。

「えんじゅ」は、私が感じたことや校長室から見えること等書きたいことがあるときに不定期に書いていこうと思います。皆様の心に少しでも引っかかる内容があれば幸いです。学校便りのように大切な連絡を載せるものではありませんので、お気軽にお読みください。

